

進路学習だより

# Break-through

打破！

ブレイクスルー

第2号

令和元年5月13日(月)

小笠原中学校

進路学習部

## ◆休日の学習の充実を

### ～2週間学習プログラムを終えて～

4月22日(月)から5月6日(月)までの15日間、2週間学習プログラムを行いました。今回の記録の結果として特に顕著に見られた課題が、休日の学習習慣のあり方です。特に今年は、例年になく長い大型連休となり、その10日間に学習に集中して取り組めなかった人が多かったようです。

以下の表は、期間全体の日一人あたりの学習時間と平日休日別の日一人あたりの学習時間です。

	1年生	2年生	3年生	全校
期間全体	73.0	54.7	53.1	61.6
平日	80.1	80.8	74.5	79.0
休日	69.5	41.6	42.4	52.9

(単位：分)

平成27年にベネッセ教育総合研究所が行った、「第5回学習基本調査」によると、全国の中学2年生の平日の学校外の学習時間は宿題を含めて90.0分という結果が出ています。本校の平日の学習時間は79.0分と全国平均を10分ほど下回っているものの、大きな差は見られません。ところが、休日の学習時間は平日に比べて30分程度少なく、それに伴って期間全体の学習時間も大きく減っていることが分かります。休日にいかに学習時間を確保するかが課題としてあげられることが分かります。

ただ、その一方で、大型連休に入っても継続的に学習を続けられた人もいました。こうした人は、毎日決まった時間に学習をしていたり、早朝に学習時間を設定したりという工夫をしている人が多かったようです。

## ◆これからの学習に生かすために

今年度1回目の2週間学習プログラムの取組は終わりましたが、ここからみなさん自身が何を分析し、どのように自分の学習習慣の改善に生かしていくかが重要になります。

例えば、学習習慣がまだまだ付いていないと感じる人は、一日の生活時間の中で、机に向かう時間をある程度決めたり、学習できる時間に見通しを付けたりすることもできるのではないのでしょうか。担任の先生から返却された2週間学習プログラムに食事や入浴など、生活のために必要な時間を書き加えてみると、自分がさらに学習できる時間が見えてくることでしょうか。取り組んできた2週間学習プログラムの記入用紙を、生活全体を振り返るツールとしても活用してみることもできると思います。

また、2週間学習プログラムの記入用紙を参考に、これからも学習の記録をつけ、自分自身の学習傾向の変化を確認しても良いと思います。そのためには、どんな内容を学習したか、何を使ってどの程度のページ数行ったか具体的に記述し、後で見た時に学習したことを思い出せるような書き方をしてみるのも効果的です。

また3年生は受験に向けての取り組みがスタートしています。自分の生活リズムの中に、無理の無い学習時間を決めて、定着させていけば、自分の受験スタイルを早い段階から作っていけます。まず、何が自分にはわからないのかを洗い出し、1つずつ苦手分野を克服していきましょう。

今回のプログラムをとおして、自分自身の学習習慣を改善し、学力の向上につなげてほしいと思います。